

# アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和3年5月20日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

## 1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は漁場によってばらつきがあるものの、全海域の平均値では3.8%となっており、前月から大きな状態の変化は見られなかった。
- ・貝殻異常については、引き続き褐変はないものの、一部の貝に昨年からの回復の痕と考えられる段がみられる。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示すa値の平均値は低かった。
- ・3月上旬から17°Cで継続していた水温は、今月に入り20°Cに上昇し、平年比+1°C、前年比+2°Cとなっており、貝の状態が変化することも考えられますので、貝の管理に注意してください。

## 2 調査結果一覧

漁場 <sup>*1</sup>	貝の種類 (R2産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 <sup>*2</sup>	7.0(4.6)	-1.0(-1.0)	0	0%
中部①	日中交雑貝	3.3(4.0)	-0.5(-0.2)	0	0%
中部②	日中交雑貝	3.0(4.9)	-1.2(-0.5)	0	0%
南部	日本貝	3.0(6.6)	-0.7(-0.2)	0	0%
南部	日中交雑貝	2.5(5.7)	-0.2(-0.7)	0	0%
平均値		3.8(5.2)	-0.7(-0.5)		

\*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

\*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

( ) 内は昨年同月の値

## 3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日2日前を目処に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)をサンプルとした。

## 4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。  
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。